

話そう学ぼうパマママワーク

本社子育て応援ラボ始動

【芽室】子育て層を対象としたワークショップ（WS）「話そう、学ぼう！パマママワーク」（とがち子育て応援ラボ主催）が12日、芽室町内のめむろーどで開かれ、参加者が相手の気持ちと向き合う円滑なコミュニケーションのこつを体験した。

「とがち子育て応援ラボ」は十勝毎日新聞社が住民と協働で進める新プロジェクト。

第1弾事業のWSは、コミュニケーション技術「コーチング」有資格者の早川靖志氏（音更）とともに全3回開催。

この日は同町内の子育てサークル「さんぽ」のメン



対話を通じてコミュニケーション術を学ぶ参加者

きに自分の意識が相手に向いているかどうかを確認。参加者からは「つい自分に意識が向きがち」「ふだん子供と対等に会話が成立していないことに気がついた」などの声

が出た。

WSでは2人1組の対話を通して、人の話を聞く

相手の気持ちや内面を聞く会話のこつなども体験し

た。

3月11日に「子育てに役立つ『聞く』『話す』」、4月16日に「子育て家庭のライフプラン」を聞く。ともに午前10時～正午。参加料1回500円で、帯広市内の洋菓子店「十勝

トテツポ工房」のケーキ付き。定員20人で、追加の参加者を募集中。

申し込みは十勝毎日新聞社お客様センター（午前10時～午後6時、0120・25・3999）へ。

（小林祐己）